

# 新・刈谷市美術館基本計画 [概要版]

## 刈谷市美術館は、新しく生まれ変わります！

昭和 58 年に開館した刈谷市美術館は、芸術文化を発信・振興・継承するための多様な事業を行い、市民をはじめとする多くの方々に親しまれてきました。しかし、令和 7 年時点で開館から 42 年を経過し、施設の老朽化が著しく進行しています。美術館の重要な使命の一つとして、美術作品を未来まで守り伝えるために、施設の再整備が不可欠となっています。

また、美術館をめぐる社会の状況や期待されるニーズは、開館当初から大きく変化しています。作品鑑賞を行うだけでなく、利用者が気軽に立ち寄り学びや感動を得られる場、また、美術を通じた地域のにぎわいを生み出す場としての機能が一層求められるようになっています。

現在の建物、設備でそれらの機能を支え続けるには限界があることから、刈谷市では、有識者による刈谷市美術館リニューアル計画検討委員会やアンケート等により得られた意見等を踏まえ、リニューアルの方向性を検討した結果、現美術館の敷地内に新たな刈谷市美術館として建て替えることを決定しました。

アート、人、地域、そして未来をつなぐ新・美術館として生まれ変わることをめざし、ここに、美術館の事業計画や施設整備についてまとめた「新・刈谷市美術館基本計画」を策定します。

# 新・美術館がめざす姿

つないで  
ひろがる  
みんなの  
ミュージアム

「ものづくりのまち」として成長を遂げてきた刈谷市では、積極的な文化観光施策を推進しています。新・美術館では、これまで行ってきたユニークな企画展の開催や市民ギャラリーの運営、美術作品の収集といった事業を継承しつつ、より親しみやすく、地域の活性化や社会課題の解決といったポテンシャルを発揮できる施設となるよう生まれ変わります。

「つないで ひろがる みんなのミュージアム」をめざす姿とし、以下に3つのコンセプトを定めます。

## 3つのコンセプト

### 芸術文化を 守り伝える美術館

市民の、そして人類共有の財産である美術作品を、未来まで守り・伝える施設として活動します。芸術文化の継承・発展のために活動する美術館をめざします。

### 美術を通して 楽しさや感動を 分かち合う美術館

美術館そのものが、ワクワクする楽しさ、学びや感動を得られる場として機能します。地域の文化的ランドマークとして、あらゆる人びとから愛される美術館をめざします。

### 人びとと 交流し共につくる 美術館

人びとの作品発表・創作の場、また多様なアート体験の場として機能し、美術を通じた活発な交流をつくり、地域の芸術文化の発展をめざします。



# 事業計画

新・美術館の3つのコンセプトを支えるための事業計画を、以下に示します。

## 芸術文化を 守り伝える美術館

- 作品を未来につなぐための適切な保存環境を整備し、次世代に継承します。また、これまでに形成された体系的なコレクションを拡充・発展させます。
- 愛知や刈谷ゆかりの作家作品をはじめ、絵本の原画、ポスターなどの特色あるコレクションと出合える機会を提供するため、コレクション展の展示規模や期間を拡大します。
- 調査研究の成果を展覧会やワークショップの内容に反映させるとともに、デジタルアーカイブを充実させコレクションを広く公開します。

## 美術を通して 楽しさや感動を分かち合う美術館

- 美術館活動を充実させる展覧会のほか、市民の関心に応える展覧会など、ユニークで多彩な企画展を開催します。
- 気軽にアートを楽しめる魅力的な館内空間で、日頃から芸術文化に親しむ機会を創出します。
- 子どもから大人まで、さまざまな年代、多様な関心を持つ人びとが楽しめるワークショップや講座を開催します。
- ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、誰もが快適に過ごせる場を提供します。

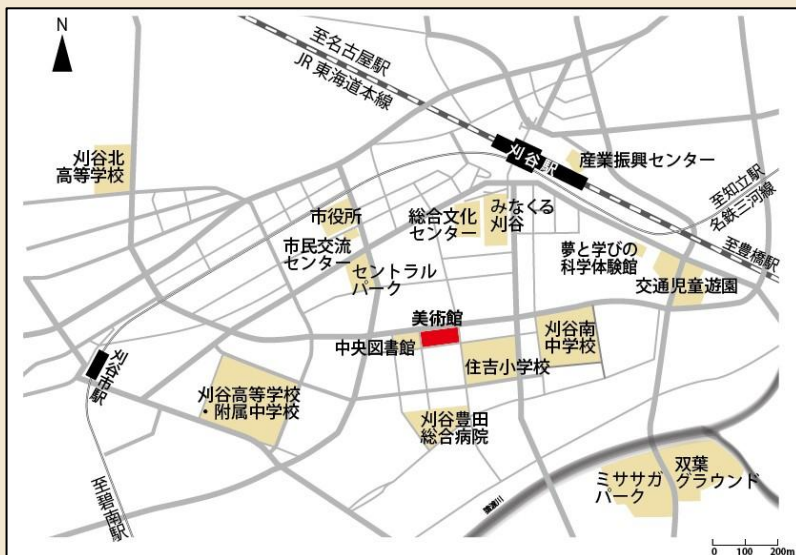
## 人びとと 交流し共につくる美術館

- 市民の作品発表のための展示室（アートギャラリー）を整備し、地域の芸術文化活動を促進します。
- 学校や図書館、他の美術館等と連携し、共創・共育の場として、美術の魅力を紹介するプログラムやアウトリーチ活動（出前講座など）を行います。
- 周辺の集客施設、地域の民間企業・商工団体などと連携し、まちなかのにぎわいを創出します。地域の文化・観光拠点の一つとして機能します。

# 施設整備計画

## 周辺環境

新・美術館は、現美術館の敷地内に建替えにより整備します。愛知県の主要駅である刈谷駅から徒歩10分の好立地に位置し、名古屋駅から直通約20分と公共交通の便が良く、広域からのアクセスも容易です。周辺には学校や公共施設が集まり、刈谷市の中心市街地の中で、多様な人々が行き交うエリアに属します。高い集客ポテンシャルをいかした施設整備をめざします。



## 施設整備の基本方針

### 文化財を守り伝えるため、堅牢な建築を実現します

地震や水害などの自然災害から貴重な文化財を守り次世代に継承するため、想定されるリスクを的確に捉え、堅固な建築構造、地震や水害への対策、高い耐火・防犯性能等を備えた建築とします。

### 環境負荷の低減に寄与します

美術館として必要な性能を確保しつつ、環境保全、管理運営コスト低減、建物や設備の長寿命化などに配慮して整備します。また、ミュージアム I P M（総合的有害生物管理）※による虫菌害対策を前提とします。

### 親しみやすく、気軽に利用できる施設を実現します

市民が日常的に利用できるよう、交流エリアの充実を図ります。また、利用のしやすさと美観を兼ね備えた施設の中で、利用者サービスを充実させます。

※ミュージアム I P M（総合的有害生物管理）：文化財を加害する虫菌害や不快生物等からの生物被害を薬剤だけに頼らず防除するため、清掃・温湿度調整などの日常的な環境管理を重視した対策。

## 諸室の機能と役割

事業計画に示した事業を展開するため、以下の諸室機能を備えます。

### 収集保存

- ・美術作品を、特性に応じ最適に保存する**収蔵庫**を整備します。また、今後想定される保管スペースを見込み、十分な耐火・耐震性を確保する構造とします。

### 調査研究

- ・展覧会の準備作業やコレクションの調査研究等を行う**作業室**、データベースを活用するための環境を整備します。

### 展示公開

- ・企画展とコレクション展に利用する**展示室**を整備し、大規模展の開催や重要文化財等の展示に対応可能な汎用性を備えます。また、作品保護のための空調、照明、防災・防犯設備を備えます。
- ・多様な表現手法に対応できる展示空間を構築します。
- ・作業を安全かつ円滑に行える機能的な**動線**を確保します。

### 教育普及・交流共創

- ・講演会、講座、創作教室、コンサート、映像上映会、学校団体の受け入れ、ワークショップなど、さまざまな活動が実現可能な**多目的室**や**ワークショップルーム**を整備します。
- ・市民や地域の方々が年間を通じて作品発表・鑑賞できるよう、独立した**市民ギャラリー**を整備します。
- ・人びとが交流する**エントランス空間**を整備し、気軽に美術館を利用できる環境を整えます。
- ・**ユニバーサルデザイン**の考え方にに基づき、誰もが快適に美術館を利用できるよう整備します。

### 管理運営、その他

- ・災害時に**利用者の安全確保と作品保護に対応できる設備**を設けます。
- ・十分な台数の**自家用車駐車場**を設け、利用者が円滑に利用できるよう整備します。

機能	必要となる諸室やスペース
収集保存	収蔵庫、前室、一時保管庫、搬入口、トラックヤード、荷解室、専用エレベーター
調査研究	書庫、作業室
展示公開	展示室（企画展示、コレクション展示）、展示室前ラウンジ、展示備品・機材室
教育普及・交流共創	多目的室、ワークショップルーム、アートギャラリー、アートギャラリー専用設備（搬入口、備品倉庫、控室）、交流エリア（エントランスロビー、情報発信・美術書閲覧スペース、ショップ・カフェ、休憩スペース、親子スペース、授乳室など）
管理運営	事務・学芸員室、会議室・打ち合せスペース、応接室、管理諸室（倉庫、更衣室、給湯室など）
その他	<b>共用</b> エレベーター、コインロッカー、車椅子・ベビーカー置場、救護室など
	<b>管理設備等</b> 管理設備（電気設備、空調設備、給排水衛生設備、昇降機設備、ガス消火設備ボンベ庫、非常用発電機室など）

# 管理運営計画

## 管理運営形態の方式

長期的な視野に立った公益性の維持と、市民や地域との協働・連携強化を図るため、現行の美術館と同様の直営方式を基本とします。これにより安定性と効率性を両立させた運営体制の構築をめざします。

## 管理運営体制の部門

管理運営を効率的・効果的に推進するにあたり、各部門の人員配置を以下のように想定します。企画・事業から施設管理まで美術館全体の経営を統括する館長のもと、各部門が横断的に連携し、多角的な事業展開を実現する体制を整えます。

**企画・事業部門**：「収集保存」「調査研究」「展示公開」「教育普及・交流共創」「管理運営」等の各機能を展開するため、専門性を有する学芸員などの人員を配置します。市民や地域など多様な主体が共に協働・共創し、アートの魅力を広げる各種事業を推進する体制を構築します。

**施設管理・総務部門**：施設の維持管理、経理、アートギャラリーなどの施設貸出に関する業務、広報、来館者サービスなどを担当する人員を配置します。

# 事業スケジュール

新・美術館の整備は、以下のスケジュール案を前提として推進します。



施設整備中に並行して行う事業計画について、今後の収集方針や展覧会内容に関する事、教育普及プログラムやアウトリーチ活動に関する事、学校、図書館、地域の民間企業・商工団体との連携に関する事、ボランティア制度など支援の仕組みづくりに関する事などについて検討を行います。

## 新・刈谷市美術館基本計画【概要版】

発行：令和8年3月

発行者：刈谷市

編集：市民活動部 文化観光課 刈谷市美術館

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地

TEL：0566-23-1636 FAX：0566-26-0511 URL：<https://www.city.kariya.lg.jp/museum/>